

Duo Rozwój

デュオ・ロズヴィー



関西出身の2人は幼い頃に相愛学園音楽教室で学び、以来高校、大学と桐朋学園大学音楽学部の寮で生活を共にした大親友。大学卒業後、二人の活動の場は分かれたものの、その絆は途切れることなく、常にお互いを支え合ってきた。そんなお互いの全てを知り尽くした2人が、満を持して2011年「Duo Rozwój」を結成。これから先もずっと2人で発展し続けたいという想いから、ポーランド語で「発展」を意味する「Duo Rozwój」と名付ける。2011年ロシア、ポーランドの作曲家の作品を集めたファーストアルバム『Cześć!』(チェシチ!)、2015年にセカンドアルバム『音絵本』をリリース。

+  
TAKASHI NIIGAKI  
+  
MICHIO IIHARA



2nd アルバム『音絵本』

～ヴァイオリン～

加藤 恵理 かとう えり

桐朋学園大学音楽学部を経て同大学研究科修了。

1998年(社)日本演奏連盟主催“演連コンサート”のソリストに選ばれ、サントリーホール(小)にてデビューリサイタルを行い好評を博す。その後各地でリサイタル、サロンコンサート、また『音と光の競演』と題し、音楽とライティングのコラボレーションでファンタジックな世界を演出したコンサートを行うなど、意欲的な活動を続けている。故江藤俊哉、江藤アンジェラ、故東儀祐二、久合田緑、故石井純の各氏に師事。(社)日本演奏連盟会員

～ピアノ～

新垣 隆 にいがき たかし

1970年東京に生まれる。ヤマハ音楽教室や千葉県立幕張西高校音楽科などを経て、1989年桐朋学園大学音楽学部作曲科に入学、のち同学科を卒業。現在作曲家、ピアニストとして多岐にわたり精力的に活動、中でも近年はサイレント映画の伴奏を数多く手掛け、そのエンターテインメント性と共に、近代を検証するひとつの方法の提示としても評価され、注目を集めている。昨年度まで母校の講師を20年近くにわたって務め、後進の指導及び日本の明治期から昭和期における作曲家達の研究に従事する。作曲を南聡、中川俊郎、三善晃、ピアノを中岡秀彦、河内純、夢藤哲彦、森安耀子、指揮法を高階正光の各氏に師事。

～語り～

飯原 道代 いいはら みちよ

桐朋学園演劇専攻卒業。第2回、第3回新劇俳優協会《詩と朗読MINI FESTIVAL》にて最優秀賞を連続受賞。阪神淡路大震災の際、被災地でのコンサートを巡演した経験から「言葉」「音楽」「気負わない体」による表現が、人の生きる力を引き出すことを実感し、以来「言葉」の表現活動を続けている。音楽作品では、子どもたちのオーケストラと共演するほか、ストラヴィンスキー「兵士の物語」、プロコフィエフ「ピーターとおおかみ」など、様々な演奏家との舞台作品作りを展開している。



sonorium (ソノリウム)

東京都杉並区和泉3-53-16 TEL 03-6768-3000

<http://www.sonorium.jp>

✉ [hall@sonorium.jp](mailto:hall@sonorium.jp)

京王井の頭線 永福町駅下車(北口) 徒歩7分

東京メトロ丸の内線 方南町駅下車 徒歩10分

お車でのご来場はご遠慮いただきますようお願いいたします。

お問い合わせ Klangmalerei 03-6314-5795(Fax専用) [otoehon@gmail.com](mailto:otoehon@gmail.com)

